



# 新刊案内



『タブレット・キルドレン』 村上 しいこ／作                    さ・え・ら書房                    T / ムシ
『5分後に思わず涙。』 桃戸 ハル／編著                    学研プラス                    T / コフ
『いもうと』 赤川 次郎／著                    新潮社                    TB / アシ
『異世界食堂：6』 犬塚 惇平／著                    主婦の友インフォス                    TB / イシ
『中高生のための哲学入門』 小川 仁志／著                    ミネルヴァ書房                    T / 104 / オヒ
『マンガでよくわかるねこねこ日本史:10』 そにし けんじ／著                    実業之日本社                    T201 / ソケ
『大学受験案内：2023年度用』 晶文社学校案内編集部／編集                    晶文社                    T376 / タイ
『進化の謎をとく発生学』 田村 宏治／編                    岩波書店                    T481 / タコ
『ふくふくにゃんこ』 かわぐち さき／絵                    文芸社                    T726 / カサ
『私たちのサステイナビリティ』 工藤 尚吾／著                    岩波書店                    T519 / クシ
『漢字ハカセ、研究者になる』 笹原 宏之／著                    岩波書店                    T811 / サヒ
『〈読む〉という冒険』 佐藤 和哉／著                    岩波書店                    T / 909 / サカ



**ティーンズのココロ通信** 山口市立中央図書館 221号

令和4年 5月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



# 世界



新学期が始まって1ヶ月が経ちましたね。  
新しい学年、クラスで新しい友だちはできましたか？  
今月のテーマは【世界】です。  
みなさんの将来にはどんな世界が広がっている  
でしょうか。



### ●『手にとるように世界史がわかる本』

小松田 直／著      かんき出版      T209／コナ

「ノアの洪水って本当にあったの?」「シーザーは何で暗殺されたの?」おとぎ話のような大昔の出来事の真相とは?

「同盟とか条約って何?」歴史の授業で目にする単語が生まれた経緯とは?

「どうして今も戦争は起きているの?」ニュースで目にする映像の理由とは?

人類の英知と愚行の歴史を辿れば、今、世界で起きていることの理由がわかる。

「世界史トリビア」や「そのころ日本は?」などの豆知識で歴史を楽しく学べる一冊。      (S. O)

### ●『なぜ世界を知るべきなのか』

池上 彰／著      小学館      T/302/イア

多様な文化、多様な思考、多様な生き方-。日本にいただけでは決して持ち得ない視点を持たせたら、誰でも必ず成長する。日本は世界からどう見られているのか。世界を知るために何を学べばいいのか。世界を旅してきた池上彰が若者に、コロナ禍で内向き志向になっている今こそ世界に目を向けようと伝える。      (A. H)

### ●『海に向かう足あと』

朽木 祥／著      KADOKAWA      /クシ

ヨットをこよなく愛す村雲たち 6 人のクルーは、小笠原諸島の三日月島で開催されるヨットレースへの参加を決めた。それぞれの思いを胸にレースに臨もうとしていたクルーだったが、レース当日現地で合流するはずのクルーや家族が来ない。何かがおかしい、と思っているところへ遅れて来るはずだったクルー諸橋から「トウキョウカイメツ」のメールを受け取る。世界はつながっていて、何事かあれば皆一蓮托生、という現実を痛いほど突き付けてくる 1 冊。      (H. S)

### ●『国際協力ってなんだろう 現場に生きる開発経済学』

高橋 和志 山形 辰史／編著 岩波書店      T333//コク

国際協力とは、政府間、他国間、あるいは民間で行われる、国境を超えた援助・協力活動のことである。今なお平和ではいい環境に身を置くことを強いられている人々が大勢いる。

貧困削減、開発援助、感染症対策、平和構築、環境保全、ジェンダーなど、国際協力に関わる 24 のテーマを取り上げて解り易く解説すると共に、現場の研究者たちの目に映る厳しい現状や課題、開発経済学の視点から変化していく世界の姿や取り組みを紹介する。      (S. O)

### ●『世界を平和にするためのささやかな提案』

池澤 春菜 他／著      河出書房新社      T319/セカ

世界を平和にするために、わたしたちができることは-。黒柳徹子(女優・ユニセフ親善大使)、木村草太(憲法学者)、春香クリスティーン(タレント)など 22 人が、今日からできる平和のためのアイデアを提案する。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻のニュースが毎日報じられています。ぜひ図書館の本を読んで、世界平和について考えてみてください。      (A. H)

### ●『ギヴァー 記憶を注ぐ者』

ロイス ローリー／著 島津やよい/訳 新評論      TF/ラロ

今いる世界とは違う世界に行きたいと思ったことはありますか?

ジョナスは、そう思いました。

生活のすべてが統制された理想郷に住むジョナスは、12 歳になり「記憶の器(レシーヴァー)」になるための訓練を始めると、この世界は何か変だ、と感じ始めます。

人間らしさとは何か? 幸せとは? これまで信じていたことが間違っていると気付いたジョナスは、別の世界を求めて旅に出ます。近未来を描いた SF ですが、人間性再生の物語でもあります。      (H. S)